

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

# MELDIA

月刊メルディア  
VOL.43  
TAKE FREE

布施博が訊く

公民連携勉強会×布施博

福祉支援企業探訪

フクフクプラス

2021ベルマーレクイーンによる取材

最新型「電動車いす」を体験

人気連載エッセイ

水越けいこの  
「M size／はじまり」

障がい者を応援

地方行政

と

障がい福祉

MELDIA 2021 JULY VOL.43

月刊MELDIA VOL.43 2021年5月25日発行(毎月1回25日発行) 第43号 通巻43号  
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA  
GROUP

同じ家は、つくらない。



メルディアグループ  
<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計  
〒163-0632  
東京都新宿区西新宿1-25-1  
新宿センタービル32F

メルディアグループ  
公式Instagramアカウント  
完成事例公開中!「#メルディアグループ」で検索  
@meldia\_group



**福祉施設や高齢者施設を慰問  
プロレスで地域を元気にする**

大矢 末吉さんは栃木県足利市の市議会委員でありながら、現役プロレスラーとしても活動しているんですよ。

末吉 はい。

大矢 これまで全国の障がい者施設や学校、高齢者福祉施設での慰問を数多く行ってきたそうですが、なぜ「慰問」をしているんですか？

末吉 色々な地方に遠征して試合に出る事も多いんですけどね。その各地の人たちにプロレスを観て元気になって欲しいという思いがあります。

大矢 なるほど。

末吉 テレビを通してしか観たことのないプロレスの試合をリングサイドで観てもらったり、プロレスラーと実際に触れ合うことで、「非日常」を

楽しんで貰えたらな、と思っています。

大矢 慰問先の人たちの反応って、どんな感じなんですか？

末吉 子どもたちや障がいのある人たちが大はしゃぎしてくれますし、高齢の人たちの中には若い頃にプロレス全盛期を経験している人も多くので、「よく来てくれた！」と熱く歓迎されることがあります。とても喜んでいただけているのではないかと思います。皆さんの喜んでくれる姿を見るにつけ、慰問をしている私たちもパワーを貰っていると感じます。

大矢 東日本大震災をきっかけにして、被災地で「復興プロレス」の開催も続いているそうですが、なぜそれをやろうと思ったんですか？

末吉 私が所属する団体の「プロレスリング・アライヴ」は2009年に岩手県で旗揚げしました。その2年後に東日本大震災が起きて、私たちに縁がある地域、そこに住む人たちの多くが被災しました。そこで、被災地の復興と地域の人たちを応援することが何かできないだろうか？ と考えて各地で「復興プロレス」と銘打った試合を開催してきました。

大矢 そういう経緯があったんですね。

末吉 最初は受け入れて貰えるのだろうかという不安がありました。でも、いざ現地に行ってみると非常に多くの人たちが会場に集まってくれて、中には泣いて喜んでくれた人たちも多くいました。開催して良かったと思えましたね。

# プロレスラー + 市議 = 地域を元気に!

プロレスラー／市議会議員  
**末吉利啓さん**  
すえよしとしひろ



これまでに各地を訪ねて、障がいのある人たちや福祉に携わる人たち取材をしてきました。

そんな中、一番多く取材に行ったのが栃木県でした。障がいのある人たちがワイン醸造に励むワイナリー、リネン類などのクリーニングを行う工場、接客や調理補助をするカフェなど、印象に残っている多くが栃木県内にありました。

現役のプロレスラーとして活躍しながら、栃木県足利市の市議会議員としても活動をしているのが今回登場の末吉利啓さん。

障がい福祉に造詣が深く、障がい者支援にも積極的に取り組みながら、プロレスラーとして、市議会議員として、障がいと障がいのある人たちに向き合う末吉さんにお話を聞きました。

## 障がい福祉と地域の 活性化に取り組む

Professional wrestler + Alderman = Energize the area!

# 地域や街の賑わいを 取り戻せることにな ったら良いな



プロレスリングアライヴ プロレスラー  
栃木県足利市議会議員  
末吉 利啓さん  
すえよしとしひろ

俳優・タレント  
大矢 真那  
おおやまさな



Professional wrestler + Alderman = Energize the area!

## 出身地の活性化を目的として プロレス界から政治の世界へ

大矢 末吉さんはどうして市議会議員になろうと思ったんですか？  
末吉 大学で政治を学んだこともあって、政治には興味がありました。出身地の栃木県足利市をもっと盛り上げたいと思ったんです。  
大矢 なるほど。

末吉 大矢さんは「この町も昔はもっと賑わっていたんだよ」というような言葉を耳にした事ってありませんか？  
大矢 あります。特に地方に行った時とか、割と色々な所で聞いている気がします。

末吉 そうですね。私もプロレスの地方巡業などで出かけた地域の人たちにそう言われる事が多かったんです。ふと、自分の出身地のことを考えてみたら、足利市も例外なく同じような状況だな

と思ったんです。

大矢 そうだったんですか。

末吉 自分の故郷(ふるさと)である足利市をなんとか盛り上げていかねばと思った時に、いっそ自分が政治の世界に入ってしまった方が早いのではないだろうかと考えて市議選に出馬することを決めました。結果、多くの有権者の信任をいただいて当選することができました。

大矢 あくまでも個人的な意見としてお聞きしたいのですが、地方における現在の障がい福祉に関することや、行政が取り組むべき課題って、どんなところだと思えますか？  
末吉 まずは、行政の相談体制をもっとシンプルにするべきだと感じています。

大矢 それはどういう事ですか？  
末吉 何か困り事があって行政に相談をするにしても、その相談内容によってはひとつの部署のみで解決できずに、複数の部署に跨るような場合に、各部署を「たらい回し」になってしまう事もあ

るんです。  
大矢 そういう話、よく聞きます。  
末吉 特に、障がいのある人の場合は、行政の支援を受けるか・受けられないかで生活が大きく変わってしまう事もあります。

大矢 そうですね。  
末吉 もっと包括支援に力を入れて、相談に応じて必要な事業所などにすぐ取り次げるような体制を強化して行くべきだと思います。

大矢 そうですね。  
末吉 もっと包括支援に力を入れて、相談に応じて必要な事業所などにすぐ取り次げるような体制を強化して行くべきだと思います。

一般財団法人メルディア

# MELDIA

「一般財団法人メルディア」は2017年に設立されました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

## 02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月2万部強発行しています。現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等に無料配布しています。



## 04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2021年現在、選考会を経て選抜された9名の若者に対しての支援を行っています。2020年度の奨学生から田中聡選手が奨学生初のプロ選手として湘南ベルマーレとプロ契約し、2021年4月からトップリーグで活躍しています。



## ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。誰も人生は一度しかないものです。

### ■ 財団概要

名称 一般財団法人メルディア  
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)  
設立者 小池信三  
設立日 2017年5月23日

## 01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



## 03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにでも紹介していますので、そちらも併せてご覧ください。



## 05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。観戦チケットをご希望の方は巻末の「チケットプレゼント」のページに記載の要項をご覧ください。



※詳細はP30にてご確認ください(編集部)

その、一度限りの人生の夢の実現を、メルディアグループの住宅をお求めになるお客様と同じように、障がいのある人、経済的に恵まれない人、多様性のある多くの人たちの人生においても、「夢」を実現していただくための一助となれることを目標に、これからも当財団の社会貢献事業を進めて参ります。



### 取材後記

この取材に先だって、末吉さんが以前にMELDIAで連載していた障がい福祉に関する記事を改めて読んでみました。私など到底およびない卓越した文章で書かれた記事は、とても分かりやすく、しかも説得力がありました。

末吉さんが市議会議員として挑む課題のひとつに「廃校の活用」があるといいます。その課題解決のため、全国の若手市議らと広く手を結び、情報や意見の交換を進めているようです。

障がい福祉の推進と共生社会の実現、街の活性化や行政サービスの向上に対峙して、市政というリング上で闘い続ける末吉さんの活躍が楽しみになった取材となりました。

大矢 大学で政治を学んで、プロレスラーとして海外での武者修行も経験し、現在は地方の行政を担う市議会議員として、地方が抱える課題解決のためのリング上で闘う末吉さんの、これから活動の抱負や展望を聞かせてください。  
末吉 現在の「少子化」が原因で廃校になる学校の数が増えています。また、廃校を含めて利用されていない公的施設の数が非常に多くなっています。それらを維持するには莫大な財政支出が必要になります。  
大矢 最近、よく耳にする問題ですね。  
末吉 このままだと、近い将来に財政が破綻して

しまう市区町村もあると試算されています。  
大矢 維持できないのであれば、更新や取り壊しをしなければならぬのでしょうか、それにも費用が掛かりますね。  
末吉 取り壊して終わりにしてしまうと、街のあちこちに空地が点在することにもなって、街が死んでしまうのではないかと思うんです。  
大矢 確かにそうですね。  
末吉 もしも、それらの公的施設を有効活用していただける民間企業や、例えば福祉事業所などがあれば、ぜひとも利用して欲しいと思います。あらゆる人たちの力と知恵をお借りしながら、共に地域や街の賑わいを取り戻せることになったら良いなと考えています。



足利をげんきにするプロレスラー 末吉としひろ  
<http://sueyoshi-toshihiro.com/>





# 公民連携勉強会

近年、地方自治体が解決すべき事のひとつとして挙げられているのが、使われなくなった公共施設をどうしていくか？ という問題だ。

その中で、少子化に伴う児童や生徒数の減少により学校の統廃合が行われた結果、「廃校」となる学校施設の数が全国各地で増え続けていることが憂慮されているとも聞いた。

「廃校を何かの用途に使うって欲しい」と考える自治体と、「廃校を使いたい」とする民間事業者らがタッグを組んで問題解決に挑む「公民連携」の動きに耳目が集まっている。

今回、この「公民連携」に関する勉強会が開催されるのを知り、主催者に無理を言って参加させてもらい、出演者に話を聞いた。

## 「公民連携」とは？

自治体と民間事業者らが連携して公共サービスの提供を行う仕組みのひとつ。社会情勢の変化や住民の暮らし方の変化による「ニーズの多様化」に対応するために、自治体と民間事業者が手を組んで、知識、技術、資源などを活用して公共サービスを継続的かつ永続的に実施して提供していくための手法だとされている。

今回の「公民連携勉強会」では栃木県大田原市で廃校になった小学校を改築して営業をしている「ヒカリノカフェ蜂蜜小珈琲店」の事例が報告された。

## ヒカリノカフェ蜂蜜小珈琲店

MELDIAの取材で実際に僕も現地に行ったことがある。那須連山の雄大な山並みをバックにした田園地帯の中に同店はある。

大正や昭和の時代を彷彿とさせるレトロな木造校舎の佇まいを残しつつも、モダンなカフェとして改築された同店は、いわゆるSNS映えが必至の人気のカフェだ。

ここは福祉事業所としても機能し、障がいのある人たちが多く働いていることでも知られている。ここに倣って、全国でも同様の施設が作られつつある動きが顕著だ。



栃木県足利市議会議員  
**末吉 利啓** さん  
すえよし としひろ  
<http://sueyoshi-toshihiro.com/>



栃木県大田原市市議会議員  
**星 雅人** さん  
ほしまさと  
<http://www.hoshimasato.com/>



社会福祉法人エルム福祉会  
hikari no café 蜂蜜小珈琲店/施設長  
**川上 聖子** さん  
かわかみ しょうこ  
<http://www.hikarinocafe.com/>



MC  
2021ベルマーレクイーン  
俳優/タレント  
**中野 優希**  
なかの ゆうき  
[https://twitter.com/yuuuki\\_off](https://twitter.com/yuuuki_off)



俳優  
**布施 博**  
ふせひろし



公民連携の取り組みによって、廃校活用、地域振興、地域共生、障がい者支援、就労機会の創出という5つの課題を解決する事例とされるのが「ヒカリノカフェ蜂蜜小珈琲店」だ。

## 廃校の活用と障がい者支援

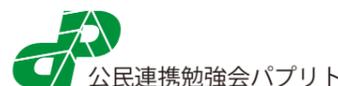
## 廃校は全国にどれくらい存在するの？

文部科学省の統計によると、平成14年度から平成29年度までに廃校となった公立の小・中・高等学校の累計数は全国で7583校にも上るといいます。さらに全国で毎年470校程度が廃校になっているのだとか。

そのうち約75%は何らかの活用がされているが、約20%は放置されたまま。維持や管理に掛かる費用が各自治体の財政を圧迫している。

# 障がい者が 光かがやく 廃校活用

取材協力/公民連携勉強会パブリット事務局



※公民連携/公と民の両者が連携して公共サービスを提供するスキーム。自治体が民間事業者の知識や技術、資源を活用して、公共サービスを継続的に実施していくための手法。

※「ヒカリノカフェ」の正式表記は「hikari no café」ですが本誌レイアウトの都合により一部をカタカナで表記しています。  
※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

# 公民連携勉強会

## 布施博

これからの公民連携について  
それぞれの出演者に話を訊く

今回のような形で講演をするのは初めての経験でした。ヒカリノカフェのことを多くの人たちに知っていただける機会を持てたことが何よりも難しく思っています。

これからも、利用者さんたちと職員とで一緒に、お客さんたちはもちろん、働いている私たち自身もワクワクするような楽しい企画を考えて、誰もが輝くことができる場所にしていきたいと思えます。(川上聖子さん)



廃校は「資産」です。市民も含む民間事業者と自治体とで連携し、資産である廃校の価値を見直して、新たな発見や創造ができるようにしていきたいと思えます。

これまで以上に、自治体の側からの情報発信に力を入れていきたいですし、多くの人たちの知見をお借りすれば、今よりもっと素晴らしい公民連携のアイデアが生れることにもなるだろうと考えます。(星雅人さん)



廃校活用の問題と障がい者支援 地域活性化について、事例を交えた貴重なお話を聞くことができた有益な時間でした。

私が住む足利市でも少子化傾向を発端にした廃校が増えているので、廃校という「資源」を活用してヒカリノカフェ蜂巣小珈琲店さんのような、地域に愛される施設を作ることができれば良いと思えます。(末吉利啓さん)

### 取材後記

「廃校の数が増えている」とは聞いていたが、その実数は僕の想像を遙かに超えていた。  
「ヒカリノカフェ蜂巣小珈琲店」には僕も取材で伺ったことがある。レトロモダンな趣きに溢れるカフェの中と、奥に設けられた工房では障がいのある人たちが快活に働いていた。  
廃校の活用、地域の振興、雇用と就労機会の創出、障がいのある人たちと地域の人たちとの共生など、複数の課題を一挙に解決する可能性がある「公民連携」は非常に理に適った取り組みだと感心した。これからも「公民連携」には注目していきたい。

布施博



新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしながら人々の距離を確保して取材を行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)

布施博が訊く

合同会社システムクリエーション編

System Creation X Fuse Hiroshi



## 既存の扉を活かして自動扉化 短時間で設置できるのも特長

布施 この装置を取り付けるだけで自動扉化できるというんだから便利な製品だね。  
酒井 一般的には、既存の扉を自動化しようと思ったら、引き戸に交換することを前提にして設置工事をするようになります。これだと工事も大掛かりですし、何しろコストが非常に高くなってしまいます。コストや工期の面で自動扉の設置を諦めていた人たちもいると思います。布施 「短時間で設置ができる」ということらしいですが、実際にどれくらいの時間で取り付けられることができるんですか？  
酒井 現場を事前に調査させていただく必要はありますが、設置から作動の検証までの一連の工事は1日あれば終了します。布施 既存の扉を活かせること、工事が短時間で終了すること、この2つがコストを下げることに成功している最大の要因なのかもね。酒井 そうだと思います。

dormakaba



スイングドアオペレーター dormakaba ED100(ドイツ製) 自動扉化を検討している一般のご家庭はもちろんのこと、障がいのある人たちや高齢の人たちなどに使って頂くことが増えれば、「自身でできること」の可能性の幅が広がるはずだと思います。(酒井さん)

スイングドアオペレーター 解説動画はこちら



<https://youtu.be/Pa3rjkyj1Cs>



お任せください！

安心・安全・快適をお届け  
スイングドアオペレーター！

カードでタッチするだけで！



リモコン式でラクラク！



合同会社システムクリエーション  
代表 酒井 将之さん

スイングドアオペレーターのお問い合わせは

システムクリエーション

合同会社システムクリエーション  
〒114-0014  
東京都北区田端 1-5-2 新井ハウス 201  
TEL 03-5834-7281  
<http://ad.sysc.biz/>



# Fuku Fuku+



株式会社フクフクプラス  
〒158-0094東京都世田谷区玉川2-21-1  
二子玉川ライズ・オフィス 8階co-lab二子玉川  
<https://fukufukuplus.jp/>

**障がいのある人が参加してシブヤフォントが生まれる**

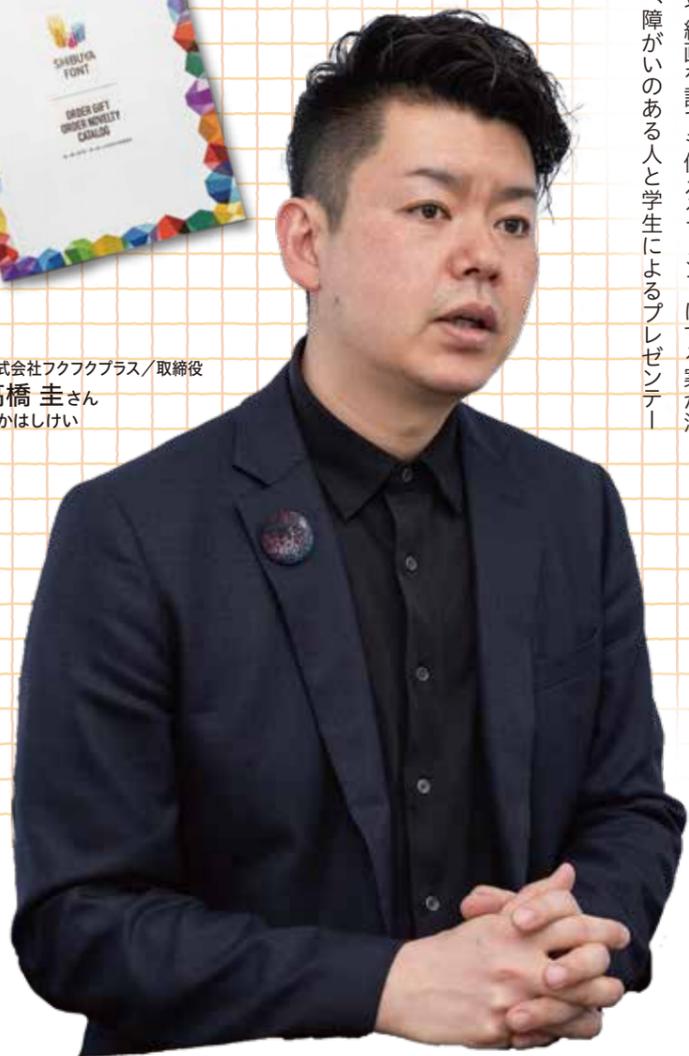
シブヤフォントとは、「渋谷でくらし・はたらく障がいのある人が描いた文字や絵柄を、渋谷で学ぶ学生がフォントやパターンとしてデザインしたパブリックデータ」です。

パートナー企業により、スーツの裏地や傘、眼鏡ケースなど、さまざまな商品に活用され、売上の6%が参加している福祉施設に還元される仕組みとなっています。

同時に、個人に限ってフォントデータは無料で、パターンデータはワンコインでウェブサイトからダウンロードして使うこともできます。こちらの売上は全額が渋谷区の障がい者支援事業所への支



株式会社フクフクプラス/取締役  
高橋 圭さん  
たかはしけい



援金となります。

シブヤフォントは2016年に、「渋谷みやげ開発プロジェクト」として始まりました。当時の渋谷区長が「渋谷のみやげを作ろう」と発声したことに、障がい者支援事業所のモノづくりを活用しよう、障がい者福祉課が挙手。フクフクプラスの共同代表であり、渋谷区内にある桑沢デザイン研究所の講師を務める磯村歩さんに支援事業所を通して相談を持ちかけられました。そこで、渋谷区と区内で学ぶ学生、支援事業所、企業による4者の取組としてスタート。1年目は有志の学生が障がいのある人たちのモノづくりを見て回るなか、文字や絵画を誰でも使えるフォントにする案が浮上り、障がいのある人と学生によるプレゼンター

シヨンの結果、シブヤフォントが採用されました。

これまでにない新しい仕組みとなるので、当初は「みやげになるのか?」「職員の負担が増えるだけでは?」「どうやって参加すればいいの?」など、不安の声もあるなかで、翌年から制作が始まりました。5年目となる2021年度は渋谷区内の12の支援事業所が参加予定、複数の企業が商品化に参加しています。

フクフクプラスはシブヤフォント開発やパートナー企業へのプレゼンターシヨン、支援事業所との関係構築などを渋谷区からの受託事業として行っています。



株式会社  
フクフクプラス  
東京都世田谷区



障がいのある人と企業をつなぐ

「シブヤフォント」をはじめ、

福祉の現場を変えたいと

活動している福祉支援企業です。



T-shirt



Cute dog pattern



Kei takahashi

株式会社フクフクプラスは、「障がいのあるなしに関わらず、お互いの違いを認め合い、誰もが自分の可能性を発揮できる社会を実現します」として設立された企業です。渋谷区の委託事業である「シブヤフォント」の活動を推進しているほか、障がい者アートのレンタル事業、障がい者アートを使った人材育成プログラムなどを展開しています。

長年、福祉の現場で職員として働き、フクフクプラスを共同代表として立ち上げた高橋圭さんにお話を聞きました。

高橋さんは一般企業として福祉の現場を変えたい、「障がいがあるからこそできること」「障がいがある人ってすごい!」を伝えたいと奮闘しています。



Various cute pattern

# Fuku Fuku+



シブヤフォント  
<https://www.shibuyafont.jp/>



**福祉の現場を改善して  
 誰もが生きやすい社会へ**

高橋圭さんは、フクフクプラスを立ち上げた2018年から、主に営業の立場でシブヤフォントの普及や障がい者アートレンタル、障がい者アートを使った人材育成プログラムなどを手掛けています。

「父が23歳の時に視野障害となり、料理人を諦めて指圧師になりました。兄と妹の3人兄弟なので、両親にとって子育ても大変だったろうと思います。子ども時代に不自由を感じたことはありませんが、父の姿を間近にするうちに福祉に興味を持つようになり、保育士を目指しました。就職した保育

園に障がいのある子どもがいたことから視点が変わり、それと同時に、福祉の現場で働く職員の仕事向上も課題だと気づいて転職、全国福祉保育労働組合の専従職員になりました。

グループホームで支援員として働いていたときに、当時35歳の利用者が「僕の夢は回転寿司で寿司を食べること」と語ったのが衝撃でした。福祉の仕事は収入がいいとは言えませんが、回転寿司なら今日の帰りにも僕は立ち寄れる、それが夢だなんて。それ以来、利用者を金銭的に支援する道を探し続けています」

高橋さんは、福祉施設で障がいのある人たちが作る自主生産品を販売するBTOOKを個人で開業。



Coverage  
 Yoshie Hattori

取材  
 服部好江 (はっとり・よしえ)  
 松濤EPO合同会社/代表社員  
<https://www.shoto-epo.com/>



その後、一般企業のフクフクプラスで障がいのある人たちが支援する道を選び、活動しています。

目指しているのは、フクフクプラスが理念に掲げている通り、「障がいのあるなしに関わらず、お互いの違いを認め合い、誰もが自分の可能性を發揮できる社会を実現」すること。それは誰にとっても生きやすい社会です。シブヤフォントのような仕組みで障がいのある人たちの作品を一般に流通させたり、アートレンタルやアート鑑賞を通して障がいのある人たちの素晴らしい能力を知ってもらおうと同時に、世間並みの報酬を手にもらえるようにと奮闘。福祉で働く人の地位向上のためには社会的な発言力を持つ必要もあると考えて活動しています。

シブヤフォントを活用して商品化されたグッズ類。フクフクプラスでもパブリックパネル、タンブラーなどを商品化し、販売している



Tumbler

シブヤフォントは、障がい者支援事業所の利用者である障がいのある人と、学生、デザイナーなどによる共同著作で作成されていますが、誰でも使えるようにするために、すべての著作権を施設に譲渡する仕組みです。

シブヤフォントは、障がい者支援事業所の利用者である障がいのある人と、学生、デザイナーなどによる共同著作で作成されていますが、誰でも使えるようにするために、すべての著作権を施設に譲渡する仕組みです。

① 障がい者アートをフォントやパターンにすることで、誰でも気軽に使い、障がいのある人を身近に感じられる。

② 障がい者支援事業所とデザインを学ぶ学生との交流が、福祉を地域に開き、学生の実社会での学びを生み出している。

③ 渋谷区公認のデータとして区民、企業の活用を広げ、ダイバーシティを推進する渋谷のシンボルとなっている。

シブヤフォントは、障がい者支援事業所の利用者である障がいのある人と、学生、デザイナーなどによる共同著作で作成されていますが、誰でも使えるようにするために、すべての著作権を施設に譲渡する仕組みです。



Fashionable lining



障がい者支援事業所は閉鎖的になりがちであるとされますが、シブヤフォントは開かれた事業所となるきっかけにもなっています。

実際に学生が関わった施設では、絵を描く利用者だけでなく、利用者みんなが学生の訪問を楽しみにしていると聞きます。また、学生も障がいのある人たちが事業所の職員と仲良くなり、フォント開発終了後も事業所の旅行に参加したりしているそうです。

フクフクプラスでは、現在、SDGsを推進している企業と共に大阪で「なにわフォント」の立ち上げも進めています。

4月にはフクフクプラス主催で「世界の企業は、なぜシブヤフォントと組みたがるのか？」と題したイベントも開催されました。

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)



# Msize エムサイズ 水越けいこ連載 43

## はじまり

### 息子と私の日々を表現する「はじまり」の本当の始まり

この連載では息子の麗良(れいら)と私が送る日々の生活の中で起きたことを中心に、割と自然体で書かせてもらっています。

今でこそ自然体で話れるようにはなりましたが、1997年に刊行した「神さまレイくんをありがとう」/ダウン症の子を持つって」の企画が挙がるまでは、息子のことを語るのに抵抗が無かったといえは嘘になりません。

自著を発表する前までの私といえば、歌詞に多少のフィクションを織り込み、音楽というフィルターを通して、作品としての全体的なバランスを整えるという表現方法でした。

分かりやすくいえば、自身のプライベートな部分をストレートに表現するのは私が持つ美学に

反することでした。正直をいえば、それまでの私にはプライベートなこと、息子のことを素直に表現する自信がありませんでした。

しかし、折角いただいた仕事だったし、周囲の人たちが期待してくれていることもあったので、自身の美学が許容する範囲内で自著を完成させようと、意を決しました。

本を書くことを決めて、息子のことを改めて考えてみました。その頃は、幼少期に虚弱だった息子が、ようやく健やかに暮らせるようになっていきました。

息子が穏やかにスヤスヤと眠ってくれる、食事を摂ってくれる、そして笑ってくれる。そんな小さな日々の出来事のひとつひとつを母親として、とても幸せに感じることができるようになっていった時期でもありました。

日々に来たこと、喜びを感じたこと、成長の

### 久しぶりのレコーディングと久しぶりに会うメンバーたち

少し前のこと、ある仕事のために生楽器でのレコーディングを久しぶりにやりました。

「レコーディングは生楽器でやるのが普通なのでは？」と思う人も多いかもしれませんが、機材の進化により近年のレコーディングには、バスキング演奏(※1)を「打ち込み(※2)」で行うことが多くなっています。

私が2021年2月にリリースしたミニアルバム「Re: love you」でもギターパートを除いて「打ち込み」のサウンドを使用しアレンジしています。

生楽器によるサウンドも、打ち込みによるサウンドも、どちらにも一長一短があります。双方の違いをここで紹介すると誌面が足りなくなるので割愛しますが、そのレコーディングの日に起きたことを書いてみようと思います。

レコーディングは家から車で30分ほどの距離にある都内某所のスタジオで行われました。都内にも関わらず、豊かな緑を湛えた中庭を屋内からも見渡すことができるという、私の好きな環境があるスタジオでした。

実はその日、息子の麗良が急に体調を崩してしまっていました。朝から病院に連れていったり、看病をしたりせねばならず、気持ちにも時間にも余裕がない状態でした。息子の体調次第では、私が



### シンガーソングライター 水越 けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

記録などを、自分だけの日記として書き溜めることを始めました。もつといえは、書かずにはいられなくなっていました。それを自著の中に編み込みました。

今でもこうして、歌詞や楽曲、文章を書き続けています。私自身の表現方法に幅を持たせてくれたきっかけは、息子が産まれてきてくれたこと。神さま、レイくんをありがとう。



不在のままです。スタジオでのレコーディング作業を始めなければならぬのを覚悟していたと後にスタッフから聞きました。

しかし、予定していたレコーディングの時間にどうにか間に合うことができました。

現在のような社会情勢下で、久しぶりにリアルで会うことができたメンバーばかり。古巣にでも帰ったような温かさを感じ、「ああ、昔はこうやって皆で集まって音楽を創っていたんだ」と、感慨深く思いました。

私は音楽が好きです。音楽のことを好きな人たちも大好きです。久しぶりに音楽が好きなたちと会えたことで、そんなことを再認識できた日にもなりました。

※1 / ボーカルなどフロント(前)に立つ人のバック(後ろ)で演奏や伴奏を行うこと=コンピングのこと  
※2 / 音楽作成ソフト(ミュージックシーケンサーなど)を使って疑似的に楽器演奏を表現する技法のこと



### ミニアルバム 「Re: love you」 収録曲

- 1. 蒼い涙
- 2. About me
- 3. 草原に降る雨
- 4. モノクローム
- 5. 私への誓い
- 6. Re: love you

ミニアルバム「Re: love you」の詳細や  
購入方法は「水越けいこブログ(Ameblo)」にてご確認ください。



水越けいこブログ  
<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>





電動車いすユーザー  
杉浦 貢さん  
すげうらみつぐ



車いす工房 輪 / 代表  
浅見 一志さん  
あさみひとし

業界初の  
新機能&新機構を  
搭載した最新型の  
「電動車いす」を  
体験する

2021ペルマーレクイーン  
による取材



2021ペルマーレクイーン  
門上 華子  
もんじょうかこ

[https://twitter.com/kako\\_monjo](https://twitter.com/kako_monjo)

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクを着用して取材を行いました。(編集部)

車いすや電動車いすを使用している人たちを街中で見掛けることはあっても、大学2年生の現在に至るまで、私の周りにはそれらのユーザーがいませんでした。

車いすや電動車いすに関して、一般的な知識は持っても、どのように製作されているのか、どんな人たちが使用しているのかも知りませんでした。

今回、電動車いすのカスタマイズを手がけている工房に伺って、業界初の新機能を搭載した最新型の電動車いすのお話を聞いて、実際にその電動車いすの試乗体験もしてきました。

また、メンテナンスのために同所を訪れていた電動車いすユーザーさんにもお話を聞くことができました。

「できるを増やす」技術力で  
ユーザーの姿勢の自由も追及

門上 新機能を搭載した電動車いすを製作されたと聞いて取材に伺いました。

浅見 これまでの市販の電動車いすには背もたれの部分をリクライニングする(動かせる)機能、椅子を上下させる機能、脚の部分だけ持ち上げられる機能、脚(部分)が伸び縮みする機能などがありました。さらにそこに、背もたれを左右に傾ける機能、横にねじる機能、背もたれが上下する機能を付けました。

門上 「ねじる」という動きは想像できませんが、自由に身体の位置を変えることができるっていうのはすごいと思います。

浅見 門上さんが誰かに「ずっと同じ姿勢でいてください」と言われたとしたら、身体のどこかが必ず辛くなってくると思うんですよ。それは、車いすユーザーでも電動車いすユーザーでも同じなんです。

門上 確かにそう思います。この機能を付けた電動車いすを製作しようとした動機やきっかけは何ですか？

浅見 筋肉の力が弱っていく進行性の障がいのある人がいました。筋肉の力が弱くても姿勢を支えることができる電動車いすを作っていたんですけど、姿勢を維持する部分が身体に当たり続けて

いと痛くなってしまったり、座っていること自体が辛くなってしまいます。

門上 なるほど。

浅見 市販の電動車いすって、それぞれの機能部位が「左右対称」に動くようになってるんですけど、「左右非対称」に動かせるものは他にはないと思います。各部分を任意に動かせることで、その人に合わせて休んだり、リラックスしたりできる機能を付けたのが今回製作した電動車いすなんです。

門上 これまでの市販の電動車いすでは実現することができなかった、ユーザーの要望を叶える新機能を搭載したということなんですね。

浅見 説明だけだと分からないかもしれないので、実際に乗って体験してみませんか？

門上 ぜひ乗ってみたいです！  
取材の当日、たまたまメンテナンスの依頼で同工房に訪れていた電動車いすユーザーの杉浦貢さんにもお話を聞くことができました。小学校や中学校で講演をすることもあるという杉浦さんは、すごくお話が上手な方でした。

門上 浅見さんと杉浦さんとは、どれくらいの長さのお付き合いですか？

杉浦 浅見さんが独立して開業する前からのお付き合いなので、17年くらいになります。

門上 浅見さんが作る電動車いすって、他と何が



車いす工房 輪  
東京都東村山市野口町2-18-5  
TEL / 042-391-3328  
<https://koborin.com/>



※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。



身体の一部と同じだから  
何ひとつ同じものはない  
自分仕様の電動車いすが広げる  
「わたし」の可能性

東京の東村山市にある「車いす工房 輪」は、私が10年以上お世話になっている事業所です。「車いす工房 輪」では、電動車いすや座位保持装置などの販売や修理、メンテナンスなどを行っています。

ユーザー目線を尊重し、斬新なアイデアも取り入れながら作られる電動車いすは、身体の一部となってユーザーの可能性を広げてくれます。

今回は、電動車いすを作る際の行政とのやり取りや製作過程など、普段はあまり知ることのできない細かい手続きを教えてくださいました。また、対談の中で見えてきた補装具費の問題や、ユーザーとの関係性などについてもお伝えします。

まずは何から始めたらいい？  
電動車いす製作に必要なこと

小林 電動車いすを作りたいと思った時に、まずどういう流れで、どこに相談したらいいのかわかるように教えてください。

浅見 電動車いすに乗る人が成人の場合を例に挙げると、更生相談所などの公的な手順では、まずは本人が、市区町村に電動車いすを作りたいということと相談することになります。その後、都道府県からの判定(※)を受けます。都道府県から判定結果が出ると、「こういう風に作ってくださいね」という「処方内容」がもらえるので、それから電動車いす業者を探して、製作の依頼をします。電動車いす業者は、その処方内容に沿って電動車いすを作るのが一般的な流れです。ただ、これは東京都の事例なので、地域によっても差があります。

小林 私のように障がい重度だと、身体に合った特別な改造が必要ですが、判定の時にそこをうまく伝えられないか、もしも伝えられないと無自覚



さまざまな部品たち



のうちに我慢が重なり、諦めてしまうこともあるでしょう。そうならないよう、判定を受ける前に浅見さんに相談していますが、その点も詳しく教えてください。

浅見 障がい重度だったり、身体の特徴によって操作が難しかったりする人が、いきなり判定に行っても、希望通りのものが出なかったり、うまく運転できなかったりすることがあります。そのため「車いす工房 輪」のお客様はほとんどの場合、事前に相談をしていただいています。病院の医師や作業療法士、理学療法士も介入し、仕様について綿密に相

談します。試乗車を何台か持って行って、実際に本人に操作してもらい、屋内の住環境などとの適合の具合も検討してもらいます。こうして、かなり煮詰めたうえで仮の見積書を作り市区町村に提出します。この後に、都道府県の判定を受けます。お客様の身体の状態によって、主治医の意見書を添付することもあります。

小林 判定前にいろいろな人に介入してもらったことで、我慢しなくてもよかった部分に気付かされることもありました。

※電動車いす等の補装具費の支給を受けるために必要な手続き。医師等による身体の状態や生活状況などの聞き取りが行われる。

電動車いすは自分の体の一部  
業者とユーザーの関係性が鍵

小林 実際に電動車いすの製作はどのように行われるのでしょうか。

浅見 まずは決定した電動車いすを仕入れます。届いた時点で仮合わせの準備をして、座れる状態にしておきます。

小林 仮合わせにはどのくらいの時間が掛かりますか？

浅見 1回ですぐに決まることもあれば、10回以上も掛かる場合もあり、人によって様々です。仮合わせの工程を経て電動車いすが完成したら、東京都の担当部署に持ち込んで、ちゃんと乗れているか、見積り通りに作られているかを見てもらいます。この工程は書類のみで行われることもあり、地域の有資格者(医師や作業療法士等)が作った書類で都からOKが出れば、書類上の行政手続きは終わりです。

小林 仮合わせの段階でOKを出しても、完成したものにしばらく乗って生活してみると、なんとなく身体に合わないと感じることもあります。季節による身体の状態の違いなど、些細なことが原因だったりもするのですが、私も完成したものに何度か修正を加えてもらったことがあります。一度完成したものに修正依頼をするのは躊躇することもありますが、その点、利用者と業者さんとの関係性

製作のなかで生まれる問題点  
必要なのに認められない機能

小林 浅見さんが今まで製作した電動車いすの中で、判定が下りなくて困った例などがあれば教えてください。

浅見 座面が電動で上下する、昇降機能が付いた電動車いすの事例があります。これが補装具だと認定されるには「椅子が昇降すること、単独で車いすに乗れること」「仕事や学校で真(しん)に必要なこと」という条件に当てはまる場合のみです。ただ、人間ですから、例えばコンサートで立った人と同じ目線で観たいと思ったり、パートナーと同じ目線で話したいということだってあります。立って歩く健常者の高さに合わせて世の中が設計されているわけですから、それに合わせたいというのは人として当然の欲求だと思います。しかし現行の制度では、例えば昇降機能の部分を自費で支払って付けたいといっても認められません。

小林 自費でもダメなんですか？

浅見 理想は補装具(費用)として出ることですが、自費でも認められないのが現状です。

小林 日常的な動作に必要なと思う機能に対して、例えば自費で負担して機能を付加したいと思っても、それが認められないことは疑問に感じる部分ですね。

取材後記

「世の中が立って歩く健常者の高さに合わせて設計されているわけだから、それに合わせたいというのは人として当然の欲求だと思う」浅見さんの言葉が強く印象に残りました。

電動車いす業者がユーザー目線を持ち合わせてくれていることは、当事者にとって心強く、要望を伝えやすいので良い関係性を作っています。

個々の障がいでだけでなく、ライフスタイルも考慮しながらの製作過程。綿密な相談と柔軟な発想でできあがった電動車いすは、世の中にもふたつとない、唯一のものです。それはまさに、自分自身の身体の一部といえるでしょう。

ライター  
こばやし

電動車いすユーザー。SMA(脊髄性筋萎縮症)2型による四肢体幹機能障害。15年ほど前にひとり暮らしを始める。現在は、1日の大半の時間でヘルパーによる介助を受けながら、在宅ワークをしている。趣味は読書、ホラー映画鑑賞など。犬を飼い始めてからは愛犬中心の生活。



P-5(ピーファイブ)



は重要になってきますよね。

浅見 利用者さんと業者との信頼関係は重要だと思います。納車して最初の1時間では分からなかったり、長期間乗ってみないと見えてこなかったりすることはあるので、そうした時に最後まで満足いく形で使ってもらえるかは大事な所だし、難しい所ですね。

小林 伝え方も難しいですね。

浅見 難しいです。基本的に、ユーザーさんがどういう人なのかをよく知るとい意味で、まずは仲良くなって、お互いにどんな人なのかを分かり合える時間をしっかり取っておけば、大抵のことは大丈夫なのかなと思います。

小林 良いものを作りあげていくうえで、お互いの信頼関係は欠かせないですね。

まずはユーザーさんと仲良くなるのが大事!



車いす工房 輪 / 代表  
浅見 一志 さん  
あさみ ひとし



# 「音楽を奏でる」その先に



## 音の力が引き出す個々の才能 将来の社会参加に繋がる支援

障がいのあるアーティストや、これまでの BORDERLESS 展での鑑賞者の反応を見て感じることもあります。それは、芸術の力で、障がいのある人の機能改善が促進されたり、秘めた才能を引き出すことができれば、もっと多くの人たちが共に楽しむことができ、相互に成長することができるとは思いません。今回は、音楽の力で障がいのある子どもたちの感性を育て、将来に社会参加が出来るような支援をしている、NPO法人・響愛学園の児島真里子代表理事（以下理事長）にお話を伺いました。

「クラリネットやバイオリンで音を出すのが難しいと思いませんか？でも、ほとんどの子どもが、初回で音を出せるんですよ」と、理事長は明るい声で語ってくれました。

大学を卒業後に特別支援学校で重度重複クラスで指導することになります。指導の中で、児童に向けて歌を唄ったり、耳元で鈴を鳴らすと、指をピクピクと動かして反応を返す児童の様子を経験し、「音や音楽の力を強く感じた」のだといいます。その経験を、現在でも学園の指導に活かしているのだそうです。

響愛学園は、障がいのある子どもたちの可能性を音楽でもっと開花させた

いとの思いで、障がい児通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス）を行なっています。

## 音楽の持つ「ハーモニー」を基に 共に成長して笑顔になる場所

利用する児童は、ほとんどが楽譜を読むことはできず、演奏経験もないといえます。「彼らには楽器の演奏が難しいという潜在意識がないので、力を抜いて素直に演奏できるんです。既成概念や思い込みで、身体と思考を硬くしてしまい、可能性を閉ざしているのは私たちの方かもしれません」と理事長の話は続きます。

2015年には、障がいのあるなしに関わらず子どもたちが、みんなと一緒に演奏をする「インクルーシブオーケストラ」を設立しました。子どもたちは、響き合う音を楽しみながら、互いの才能を刺激し合い、足りない部分は補い合いながら演奏をしていくオーケストラです。

芸術には人を魅了する力があるとされますが、それを作り出す人たちは、様々な境界を超えてより多くの人たちを魅了していくことになり、定期的な発表の場では、個々の成長を見ることができ、観る側も喜びを享受できるのが芸術の力です。

響愛学園の活動は、音楽だけでなく

美術の分野でも広がっていて、創造的療養的に学ぶ環境が用意されています。絵を描いたり、粘土などで立体を作ったり、字を書くといった創作活動が子どもたちの機能訓練にもなるだけでなく、潜在的な「想い」を引き出すことにもなっているようです。

「筆で少しなぞるだけでも、その子の想いや考えていることが理解できることが嬉しい」と語る理事長は「私たちは特別なことをしているわけでは

ありません。歌ったり、楽器を弾いたり、絵や文字を書いたりしている瞬間の子どもたちの笑顔が好きなんです」と、講師としての心境も語ります。

愛知県一宮市にある響愛学園の施設は、就労継続支援B型の作業所やカフェなど、様々な機能を備えます。障がいのある子どもや親、地域の人たちが共に成長する、誰もが笑顔になれるインクルーシブな活動に期待が高まります。

NPO法人 響愛学園  
KYOAI ACADEMY of the people with Disabilities

特定非営利活動法人 響愛学園  
愛知県一宮市時之島妙光寺 6-1  
TEL / 0586-64-8491



<https://kyoai-gakuen.com/>



Aplusc  
アプラスシー合同会社 代表  
アートディレクター  
入澤日彩子  
(いりさわ ひさこ)

神戸市出身。大学卒業後、金融機関でトレーディング部門や企画、教育部門を経験。2016年に展覧会の企画・運営やアーティストのマネジメント等を行うアプラスシー合同会社を設立。

アプラスシー合同会社  
東京都千代田区神田小川町1-8-3 3F  
TEL / 03-6868-4021  
<https://www.apluscj.com/>

<https://www.instagram.com/aplusc.llc>

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊 MELDIA の公式見解ではありません。

# ググってないで俺に聞け!



北千住あすみ法律事務所  
弁護士／高野倉 勇樹

2008年弁護士登録(第二東京弁護士会所属)。盲ろう者支援、精神障害者の支援、刑事事件などを扱う。中小企業の顧問業務(契約書作成、交渉、訴訟など)も行う。最高裁判所司法研修所・刑事弁護教官室所付(2014年2月～2017年2月)、東京都精神保健福祉センター法律事例検討会・法律アドバイザー(2018年～)などを経験。

## 第7回

### でも、お高いんでしょ??

相談料は30分5500円、  
着手金は8%+税が相場に

かつて、弁護士の報酬は日弁連が決めた基準で一律に決まっていました。今は各弁護士が自由に決めています。弁護士費用の相場は、日弁連が弁護士からのアンケート結果をまとめた「市民のための弁護士報酬の目安」という資料が参考になります。この資料は日弁連のウェブサイトからダウンロードできます。

この資料によると、法律相談料は30分5500円くらいが相場によります。相談だけでなく、

ネットで弁護士を探す人が増えています。この他に、弁護士会に法律相談を申し込む方法というがあります。各都道府県には1つ以上の弁護士会があつて、法律相談を実施しています。電話で法律相談の予約をして相談を担当した弁護士に依頼をするのが一般的な流れになります。

ネットで探すだけじゃない  
弁護士会や法テラスの利用も

区役所や市役所などが実施している無料法律相談でも弁護士に相談できますが、ここでは相談を担当した弁護士に依頼できないという決まりになっていることが多いです。

弁護士会の他に、「法テラス」の法律相談を利用するという方法もあります。法テラスは公的資金で運営されている組織で、随時法律相談を受け付けていますし、相談した弁護士に依頼をすることもできます。

法テラスの特徴は、弁護士費用を立て替え払いをしてくれるということです。法テラスを通じて弁護士に依頼すると、法テラスがあなたに代わって弁護士費用を立て替え払いをしてくれます。あなたは、法テラスに毎月少しずつ返済をしていきます。今すぐに弁護士費用を用意できないという人には便利な制度です。生活保護を受給している

正式に依頼をして相手に何かを請求していく場合には、着手金が掛かります。また、事件が終わった時には報酬金が発生します。どちらも請求した金額および回収できた金額によって変わりますが、前回の資料によると、300万円を裁判で請求する場合の着手金は18万～23万円、報酬金は20～40万円くらいが相場によります。なお、着手金は弁護士に依頼するときに支払うお金で、仮に相手からお金が取れなくても返金されません。

昔の日弁連の基準でも、300万円以下の金額を請求する場合の着手金は請求額の8%とされていましたから、上記の相場は昔からあまり変わって

人は弁護士費用が実質無料になります。

法テラスの扶助は、収入が低くて資産も少ない人しか使えません。しかし、最初から諦めてしまわずに相談してみると良いと思います。

法テラスから弁護士に支払われる報酬の金額は、法テラスが決めます。実は、この報酬はとて少ない金額です。弁護士も赤字では生活ができません。



でも、相談料って

お高いんでしょ??

せんから、「法テラスを利用した依頼は受けない」という弁護士もいます。

これはあくまでも私の感覚ですが、請求する金額が100万円以上なら、弁護士に依頼しても赤字にはなりにくいと思います。

ご相談ください!

**北千住あすみ法律事務所**  
 東京都足立区千住仲町40-3  
 グラン・パレ北千住101  
 TEL / 03-6812-0742

なお、絶対にやっつけてはいけないのが、法律上代理人となる資格がない「非弁」業者に依頼することです。非弁業者は事件の解決もできないですし、法外な報酬を取ったりするという二次被害も生んでいます。非弁は弁護士のような知識も経験も責任もないので「絶対勝てる」と断言したり、巧言を弄して自身に依頼しよう誘惑してきます。非弁は犯罪でもあるので、決して依頼してはいけません。

弁護士に支払う報酬には分割払いなどの方法もあります。費用のことで弁護士に依頼することを躊躇しているなら、思い切って弁護士に打ち明けてみましょう。きっと、あなたの力になってくれるはずです。

※編注／記事中の表現は著者本人の意見であり、一般財団法人メルディアおよび月刊MELDIAの公式見解ではありません。

## 各種の募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ



### 広報誌「MELDIA」 定期購読希望者募集

広報誌「MELDIA」はフリーペーパーです。定期購読をご希望の場合に送料無料で指定の住所まで発送をしています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。



← 定期購読のお申し込みは  
こちらから

※本誌の個別発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼しています。個別発送のタイミングにより、到着が遅れる場合がございます事をご了承ください。

### 広報誌「MELDIA」 常設設置拠点募集

一般財団法人メルディア（以下、当財団）では、広報誌「MELDIA」（以下、本誌）の常設設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所の提供をお願いします。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

### 一般財団法人メルディアへの 寄付を募集しています

一般財団法人メルディアでは、私共の設立趣旨にご理解を頂いて事業の展開をご支援頂ける皆さまからの寄附を募集しています。



#### 1 一般財団法人メルディアの事業目的

当法人は、障がいのある方を支援する活動と、スポーツ（サッカー等）を行う児童、青少年を支援する活動を通じて、広く人々と社会に貢献することを目的とした事業を行っています。

#### 2 寄附金の使途

お寄せいただきました寄附金は、当財団が行う各事業に活用させていただき、本誌上に定期的に報告いたします。

#### 3 寄附金の募集期間

随時

#### 4 寄附金額

10,000円以上任意

#### 5 税制上の優遇措置について

当財団は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）」に基づいて設立された一般財団法人です。非営利型法人ではありますが、寄附金は法に定める特定寄付金に該当しないため、寄附金控除等の税制上の優遇措置の対象とはなりません。ご理解とご承知のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

#### 6 寄附のお申込受付について

ご支援いただける場合は下記に記載のURLにある「寄付申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、受付登録をお願いいたします。追って、お振込み口座などの詳細について連絡を差し上げます。指定口座への入金確認ができ次第、「寄附金領収証」を発行し送付いたします。  
<https://meldia.org/business/donation/donations/>



#### お問い合わせはこちら

#### 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F  
一般財団法人メルディア 事務局 / 担当: 後藤(ごとう)・鷺坂(さぎさか)宛て  
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com

#### ホームページとFacebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話などの情報を掲載しています。Facebook ページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。

## Information

### 広報誌「MELDIA」 誌面リニューアル 及び 隔月刊化のお知らせ

本誌をご愛読いただきまして誠に有難うございます。また、「MELDIA」に対して様々な意見やご希望などをお寄せ頂き、感謝の念に堪えません。厚く御礼申し上げます。

広報誌「MELDIA」は、障がいのある人たちとそのご家族、支援者の皆さまに対して有益な情報を発信させて頂くための媒体として発行しているフリーペーパーです。

これまで本誌上において、当財団の取り組みや、障がいに関する様々な情報を多くの方たちにお届けすることを目的に月刊として発行を続け、今号で43号目を発行することができました。

今後も創刊時の初志を貫くべく、「MELDIA」が皆さまがお困りの事象を解決する糸口になるような冊子でありたいと考えます。そのため、情報の質の向上と、編集および刊行体制の刷新を図るため、誌面リニューアルを行います。

この誌面リニューアルに伴い、発行頻度を「月刊」から「隔月刊」へと変更させていただきます。

### 広報誌「MELDIA」 次号は2021年7月25日の発行およびお届け予定

毎月、楽しみにお待ち頂いている皆さまには大変申し訳ありません。より緻密で綿密かつ有益な情報の発信に務めさせていただきますので、新たな「MELDIA」の発行をお待ち頂きたいと存じます。

一般財団法人メルディア事務局

#### 本件についてのお問い合わせ先

一般財団法人メルディア 事務局 広報誌担当  
〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32階  
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com

#### 感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、本誌の取材に際しては衛生面への最大限の配慮と感染防止対策を徹底し、関係法令や条例の遵守を必須としています。また、取材中は人的距離の確保と適宜換気を行い、素材写真の撮影時以外はマスクの着用を義務付けるなどの措置を全スタッフに徹底しています。



